

※番号は一般質問の発言順です。

一般質問

定例会では、市政全般について一般質問が行われます。今定例会では、9月3日から9日の中で4日間行われ、20名の議員から42件の質問があり、行政側の対応をいただきました。掲載内容は、それを要約したものです。詳しくは、会議録、会議録検索システムをご覧ください。

○会議録(11月下旬発行予定) 図書館、市政図書室
○会議録検索システム(11月下旬更新予定) 市ホームページ

※情報端末機(パソコン)の設置場所は、
①市役所本庁舎1階市民相談室②七生支所③中央図書館及び分館④市政図書室⑤中央公民館⑥市立病院

本会議の様子をインターネットで録画配信しています。
市ホームページ⇒市議会・議会中継から
<http://www.city.hino.lg.jp/>

③ 谷 和彦

(自民クラブ)

問1 全国学力調査に希望利用で参加した理由は、答1(教育部参事) 児童・生徒の学力実態を把握し、授業や指導の改善に役立てるためです。
問2 東京都が補助している土曜日補習授業の推進について考えを問う。
答2(教育部参事) 取り組みを希望する学校が

⑥ 大高 哲史

(日本共産党)

問1 9月末でスパーが撤退する予定だが、日野市はURにどのような働きかけをしてきたか。
答1(企画部長) 撤退の情報を得たときから、現スパーの営業継続、また、正式な撤退発表後は新店舗の誘致をお願い

⑨ 窪田 知子

(公明党)

問 音声拡大読書器をすべての視覚障害者に給付できないか。
答(健康福祉部長) 助成の対象者や基準額が種目ごとに決められており課題があります。障害者の実情を把握し、適宜見直しの必要があると考えていますが、障害者自立支援法の動向を見ながら、検討していきます。

④ 西野 正人

(自民クラブ)

問1 市内の産業や経済状況への対応を問う。
答1(まちづくり部長) 首都圏西部地域産業活性化協議会において基本計画を策定し、国の認定を受けました。市が準備している(仮称)日野市工業振興条例と併せて、支

⑦ 今井 昭徳

(民主市民ネットワーク)

問1 現状と今後の取り組みについて問う。
答(クリーンセンター長) 現在のところ、一部を除き、レジ袋の無料配布を中止する店舗はありません。しかし、今後とも、無料配布の中止に向けた共同会議を継続的に開催し、時間をかけて改善策を模索したいと考えています。

⑩ 清水 登志子

(日本共産党)

問1 利用料の負担軽減措置について問う。
答1(健康福祉部長) 保険料や利用者負担の軽減措置など、制度の見直しを図るよう、引き続き国や都に要望します。
問2 グループホーム等のスプリンクラー設置について問う。
答2(健康福祉部長) 設置義務のない事業所にも補助をする動きがあるため、国の動向を見ながら整備を進めます。
問3 軽度の要介護者に対する生活援助を、介護保険サービスから外すという政府の見直しについて、市の考えを問う。
答3(健康福祉部長) 必要な支援については、レベルを落とすことなく実施すべきと考えており、必要な意見は言っていきたいと考えています。

① 池田 利恵

(自民クラブ)

問 地元住民への説明会の開催予定は。
答(まちづくり部長) 10月下旬以降に行う予定です。
問 今後の景気情勢による企業閉鎖等への対応に
答(総務部長) 今後、検討していきます。

② 佐藤 洋一

(無党派)

問1 検討委員会の調査研究、検討結果を問う。
答1(まちづくり部長) バス交通に関するアンケートと、乗降調査等の結果、駅以外の利用者のサービス低下を防ぐ策を講じて、地域と最寄の拠点駅を結ぶ路線の充実が効果的と結論づけています。
問2 市民要望の実現はされたのか。
答2(まちづくり部長) 様々な要望を受け、路線変更を2件、運行本数の変更を1件行いました。

⑤ 古池 初美

(民主市民ネットワーク)

問1 多くの市民力で、2020プランを策定しよう!
問 お弁当の日を始めることについて、市の考えを問う。
答(教育部参事) 来年度、自分でつくる弁当の日を検討している小学校があり、今後の日野市の食育推進の取り組みの参考になる事例であるとして期待しています。

⑧ 中谷 好幸

(日本共産党)

問1 待機児童の実態、解消に向けた今年度の取り組みについて問う。
答1(子ども部長) 本年度当初の待機児童数は162名となっており、来年度当初に向け、新たに2つの保育所の開設を支援しているところだ。

⑪ 菅原 直志

(民主市民ネットワーク)

問 今後の就労の方向性について、見解を問う。
答(健康福祉部長) 就労にチャレンジしやすい環境を整えたり、新たに雇用に取り組む企業などを開拓することが求められています。
問 激甚災害などの対象外となる被災者へのサポートについて問う。
答(総務部長) 今後、検討していきます。

問 明大の多摩テック跡地決定に向けた課題
答(まちづくり部長) 大規模な土地利用、転用等が図られる場合は、行政として積極的にかわりたいたいと考えています。

問 新教育長に問う!白野教育行政の今後は
答(教育部参事) 今年度は、313日です。なお、多摩地域で、祝日開館及び、全平日の夜間開館実施は、当市だけです。

問 図書館の利便性をより高めるために
答(教育部参事) 今年度は、313日です。なお、多摩地域で、祝日開館及び、全平日の夜間開館実施は、当市だけです。

問 開館日の現状について問う。
答(教育部参事) 今年度は、313日です。なお、多摩地域で、祝日開館及び、全平日の夜間開館実施は、当市だけです。

問 多くの市民の意見を反映するには、無作為抽出による方法やインターネット会議も検討すべきではないか。
答(企画部長) インターネットの活用も含め、世代ごとの様々な意見を集約することが、今後の

問 多くの市民の意見を反映するには、無作為抽出による方法やインターネット会議も検討すべきではないか。
答(企画部長) インターネットの活用も含め、世代ごとの様々な意見を集約することが、今後の

問1 待機児童の実態、解消に向けた今年度の取り組みについて問う。
答1(子ども部長) 本年度当初の待機児童数は162名となっており、来年度当初に向け、新たに2つの保育所の開設を支援しているところだ。

問2 ひのっ子すくすくプランの保育所整備目標や年次計画の抜本的見直し、待機児童解消のための緊急対策を問う。
答2(子ども部長) プランが目標としている276名のうち、本年度は認可保育所で26名の整備をします。また、来年度は認証保育所40名の整備を含め、全体で126名の定員枠拡大を行う予定です。今後、毎年度着実に見直ししていきます。

問 児童虐待の現状とその対策について
答(子ども部長) 都内の児童相談所では、必要に応じて心理診断、遊戯治療及びカウンセリングを行っています。

問 被災待児童へのケアについて問う。
答(子ども部長) 都内の児童相談所では、必要に応じて心理診断、遊戯治療及びカウンセリングを行っています。